

2018年度 第3回 日本建築学会関東支部埼玉支所役員会 議事録

日 時：2018年10月10日（水）18:00～20:00 埼玉建設会館 2階会議室

出 欠：■時田芳文 □市川毅 ■樋口和男 ■市川均 ■宇杉和夫 □大竹由夏 □梶芳晴 □木下芳郎 ■朽木宏
■桑田仁 ■佐藤泰 □白江龍三 □徐華 □鈴木弘樹 ■高岡敏夫 □戸田都生男 □永峰麻衣子 ■原口剛
□日色真帆 □平野隆 ■古里実 ■三浦清史 □水村容子 ■八代克彦 □若林祥文 ■宗政由桐（敬称略）
■黒田智之（事務局） □隅倉陽子（経理）

配布資料：2018年度第3回役員会 議事次第

「旧遠山家住宅 重要文化財指定 記念シンポジウム」のお知らせ

1. 日本建築学会関東支部役員会報告

- ・代議員ならびに支部推薦理事候補者・常議員選挙は2019年より電子投票のみとなることが確認された。

2. 2018年度「埼玉住まい・まちづくり交流展」について

冒頭、朽木氏より行田市の日本遺産「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」の概要説明があり、その後交流展について活発な議論が行われた。

- ・今年度の開催場所は行田市で決定とし、開催日時は2019年4月を予定とする。
- ・行田市：日本で57番目の日本遺産に認定（平成29年4月）されており、これまでは足袋蔵を保存するという方向で動いていたが、これからは活用する方向で動いていく必要がある。
- ・NPOがメインで活動しており、行田市や商工会議所と連携を図っている状況ではないが、可能であれば協賛に入っていただきたい。
- ・NPOが管理している16蔵ではなく、足袋蔵として登録されている26蔵を扱うことで、行政からの協力を得られる可能性はある。
- ・蔵で展示などの開催することを考えると、文化財保護課に相談して教職していただければそうな方を探すことも可能。
- ・日本建築学会として交流展を行う以上は、行田市で行う意義が必要（蔵に対する賛辞に終わるのではなく、新しい価値観を提供するのか）である。
- ・交流展の参加対象を市民に対してなのか、行政や商工会議所に対してなのかを意識して準備する必要がある。
- ・可能であれば2019年4月20、21日の蔵めぐりと同日開催することが望ましい。
- ・これまでの交流展の内容に固執することなく、開催場所にに応じてアレンジしながら進めていく必要がある。
- ・今後の進め方について、時田支所長、樋口氏、朽木氏、八代氏を中心に行田市および行田商工会議所と相談することとする。

3. 2018年度日本建築学会関東支部総会について

- ・2019年5月頃、熊谷にて開催することが確認された。
- ・決算報告以外に、交流展でストックした行田市の情報などをプレゼンテーションする。
- ・今後の進め方として、関東支部事務局と協議の上、関東支部長からのオファーなどに応じていくこととする。

4. 旧遠山家住宅 重要文化財指定 記念シンポジウムについて

- ・平成30年に旧遠山家が国指定の重要文化財に指定されたことによる「旧遠山家住宅 重要文化財指定 記念シンポジウム」の概要について樋口氏より説明があり、今後日程を調整の上、埼玉支所役員による見学会を行う予定である。

以上

記録：宗政由桐